

KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

交換留学プログラムにおける中級日本語学習者の漢字使用の実態：困難点と達成感の自由記述分析から

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 関西外国語大学留学生別科 公開日: 2025-04-10 キーワード (Ja): 中級学習者, 漢字学習, 困難点, 達成感, テキストマイニング キーワード (En): 作成者: 宇野, 聖子 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学
URL	https://kansaigaidai.repo.nii.ac.jp/records/2000340

交換留学プログラムにおける中級日本語学習者の漢字使用の実態 - 困難点と達成感の自由記述分析から -

宇野 聖子

要旨

本研究は、留学生別科で学ぶ中級日本語学習者 68 名を対象に、漢字使用に関する自由記述式アンケートを実施し、KH Coder を用いて分析したものである。具体的には「漢字がわからなくて困った場面」と「漢字を勉強していてよかった場面」について記述された内容を分析した。その結果、困難点として「ラベル」「メニュー」「薬」など生活に直結する漢字への言及が多く見られた。一方「よかった」体験については、①基本的な達成感、②実用的価値の発見、③文化理解への広がり、という 3 段階の深化が確認された。本研究では、生活密着型の漢字学習支援の強化や、感情体験を重視した学習タスクの開発など、より効果的な中級漢字教育の実現に向けた示唆を得ることができた。

【キーワード】 中級学習者 漢字学習 困難点 達成感 テキストマイニング

1. 研究背景と目的

日本語の難しさの一つとして「漢字学習」を挙げる学習者は少なくない。加納（2011）は、漢字学習の難しさの要因として漢字の数の多さ、字形の画数の多さや複雑さ、一つの字に存在する複数の意味と読み、日本語の表記システムを挙げている。これらの難しさは、学習が進むほど顕著になり、中級学習者が直面せざるを得ない課題となる。初級では漢字の表意性・表語性に興味を持ち、学ぶ楽しさを知ることができ、上級では生教材を読みこなす楽しさがある。しかし、中級学習者は、生教材を読むほどの語彙力はまだないものの、それを目指して学習を進めなければならない段階にある。加納（2000）は初級から中・上級に進むにつれて漢字熟語が急増するため語彙学習の負担が大きくなり、その結果、多くの学習者が習得の困難

を覚えるようになると述べている。

こういった中級日本語学習者の漢字教育に焦点をあて、個々の学習者のニーズや学習スタイルに応じた様々な実践が報告されている。自律学習の促進では、秋山・林（2016）が「セルフ・フィードバック」の活動を導入し、学習者による誤りの自己分析を通じて、個人の学習ストラテジーの見直しと教室外での自律学習への発展を目指した実践を行っている。またプロジェクト・ワークに取り組んでいる実践の事例として、掛橋（2023）はレベルが異なる短期交換留学生を対象に漢字学習ツール制作を実施し、ラーニングアシスタントの参加による日本語使用機会の創出と多様な漢字学習方法の探究を行った。また國澤・梶原（2017）は学習者主導の進度・範囲設定とプロジェクトワーク型漢字語彙学習を組み合わせた実践を報告している。窪田（2017）では非漢字系学習者への漢字指導において、教員側と学習者側の課題を統合的に分析し、双方の問題点解決に向けた実践を提案している。

このように多くの実践報告が蓄積されている中、学習者側の視点や学習者の感情面に焦点を当てた研究はあまり見当たらない。漢字学習は長期的な努力を要する分野であり、学習者の感情や動機づけといった情意面は学習の継続性や効果に大きな影響を与えると考えられる。個々の学習者が感じる困難さや達成感は多様であるが、これらの声から共通する傾向や特徴を見出すことは、より効果的な支援方法の開発につながる可能性がある。学習者が漢字学習において直面する困難点や、学習の意義を実感する場面など、情意面に着目した調査を実施することで、漢字教育への新たな示唆が得られる可能性がある。本研究は中級学習者の漢字教育への新たな視点の提供を試みるものである。

次章では本学での教育実践の現状と課題について述べる。

2. 教育実践の現状

2.1 本学における漢字教育の概要と学習者の特徴

関西外国語大学留学生別科では毎学期約 500 名の留学生が学んでおり、その大半は半年から 1 年の交換留学生である。日本語科目として、総合科目「Japanese」（レベル 1～8）と、選択科目「Kanji & Readings（以下 K&R）」（レベル 1～8）が開講されている。

本研究では、K&R4～6 レベルを対象としている。K&R4 は初級から中級への移行期の学習者を主に対象とし、株式会社ジャパントイムズ出版の『Kanji Look and

Learn』(坂野ほか 2009)の後半部分(第22課～第32課)を、K&R5と6は中級から中上級の学習者を対象としアスク出版の『増補改訂版 日本語総まとめ N2 漢字』(佐々木ほか 2022)を使用している。授業は15週にわたり週2回(各90分)行われる。

K&Rは漢字と読解に特化した選択科目であり、総合科目「Japanese」の学習を補完する位置づけである。選択科目であるため、学習者は自身の日本語能力や目標に応じてレベルを選択できる。一方、これらのレベルを履修している学習者の多くは、総合科目「Japanese」の中級レベル(Japanese 5、6)を履修している⁽¹⁾。

2.2 現状における課題

本学のK&R中級レベルのクラスを担当している教員である筆者が抱える主な課題として、以下の2点がある。1点目は学習者の多様性への対応である。交換留学生は、多様な国籍や学習背景を持ち、漢字習得数や学習方法にも個人差が大きい。現行のK&R5と6では、日本語能力試験対策のテキストを使用しているが、全員が日本語能力試験の合格を目指しているわけではなく、学習者のニーズに合っているのかわかを検証する必要があると感じている。

2点目は「授業時間の制約」である。現行のカリキュラムでは一定期間内に学ぶべき漢字と漢字語彙の数が決まっていることもあり、漢字と漢字語彙を覚えるための教室活動が中心となっている。そのため、個人にあった学習方法や学習リソースについて話したり情報を共有したりすることや、プロジェクトワークなどテキストと離れた学習者自身の興味や関心に合わせた漢字学習活動をする時間に限りがある。

上記の課題をふまえ、田嶋・宇野(印刷中)では、本学中級レベルの日本語学習者における漢字学習の実態について、(1) 現行の教科書・教材で扱う漢字が学習者の実生活でどの程度活用されているかの検証、(2) 学習者の漢字学習方法の実態、(3) 協働学習における漢字学習の意義と効果的な学習活動の検証を研究課題として調査を実施した(資料1)。

3. 調査概要

3.1 調査目的

本稿では、上述の田嶋・宇野(印刷中)で実施したアンケート調査(資料1)の自由記述質問のうち、以下：

【Q2】あなたが日本の生活で、漢字が読めない・言葉がわからないことで困難を感

じるのはどんな時ですか。具体的なシーンを書いてください。いくつでも OK です。

【Q4】あなたが日本で生活を送る中で「漢字を勉強していて良かった」「漢字を知っていて良かった」と思うのはどんな時ですか。具体的なシーンを書いてください。いくつでも OK です。

から得られた回答を分析対象とした。特に中級日本語学習者が日常生活で遭遇する漢字使用場面の感情体験に注目し、学習者の「漢字がわからなくて困った」、「漢字を勉強していて良かった」場面の感情体験の傾向を分析することで、(1) 滞在期間が比較的短い交換プログラムで勉強する留学生が、より効果的に中級の漢字学習が行えるような教育実践の設計を模索すること、(2) 本研究で得られた知見を今後の漢字教育実践に生かすことを目的とする。

3.2 調査対象・調査期間

関西外国語大学の留学生別科で開講されている K&R4、K&R5、K&R6 を 2024 年度春学期（1 月～5 月）、および秋学期（9 月～12 月）に履修した留学生 68 名にアンケート調査を実施した。68 名中 34 名が米国出身である。米国以外はヨーロッパ、オセアニア、アジア、南米などさまざまで、うち 7 名が漢字圏出身者であった。68 名の日本語学習歴は 1 年未満または 5 年以上と答えた 2 名を除き、1 年から 3 年である。

3.3 調査方法

アンケート調査用紙は英語と日本語を併記して作成し、調査対象者が受講した学期の最終週に Google form への入力、またはアンケート用紙に記入という形で回答してもらった。本調査の自由記述部分に関して、KH Coder を用いて計量テキスト分析を行った。KH Coder はテキストデータの計量的な分析を可能にするソフトウェアで、計量テキスト分析とは、計量的分析手法を用いてテキスト型データを整理、または分析し、内容分析(content analysis)を行う方法である（樋口 2021）。自由記述より複数の学習者の回答から共通するパターンを見だし、その傾向を客観的に分析する目的で、テキストマイニングの手法を用いた。回答は英語でも日本語でも書きやすい方で書いてもらったが、今回得られた回答の大部分が英語であったため、今回の調査では英語で書かれた自由記述（52 名）のみを調査対象としている⁽²⁾。

3.4 分析手順

分析は以下の手順で実施した。まず、データの前処理として、各回答者のコメントを段落単位に分割し、スペルミスや表現のゆれ（例：kanji、KANJI、Kanjis）、改行の修正を行った。次に、KH Coder による分析設定として、group work などの複合語を 1 つの語彙として強制抽出するよう設定し、また代名詞や疑問詞などのストップワードを分析対象から除外した。その上で、テキスト計量分析として、頻出語の抽出、共起ネットワーク分析、対応分析を実施した。以下に結果を述べる。

4. 調査結果と考察

4.1 頻出語の抽出

「日本の生活で、漢字が読めない・言葉がわからないことで困難を感じた場面」（以下、困ったこと）と「日本で生活を送る中で『漢字を勉強していて良かった』『漢字を知っていて良かった』と思った場面」（以下「良かったこと」）の記述において KH Coder によって抽出された語のうち、頻出語の出現上位 12 のリストを表 1 に示す⁽³⁾。

どちらも上位 3 語が read、understand、Kanji と同じ順序で出現しており、学習者が「困った」や「よかった」を感じる場面は、漢字を読む、理解するといった受容的なコミュニケーションが基本的な言語活動の中心であることを示している。

「困ったこと」では label、menu、food、medicine といった比較的具体的な「モノ」に関する言及（上位 12 中 6 語）が多く、生活必需品に関する場面で特に困難を感じていることがわかる。

一方「良かったこと」では feel、learn、see、make といった動詞の出現が多く（上位 12 中 6 語）able の出現回数が多いことと合わせて考えると、具体的な「モノ」よりも何かができたという達成感や感情的な満足感が得られていることが読み取れる。

表 1 頻出語（出現数上位 12）

困ったこと		良かったこと	
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
read	48	read	45
understand	26	understand	29
Kanji	18	Kanji	24
label	17	able	21
able	16	sign	18
know	12	Japanese	14
menu	10	feel	10
try	10	learn	9
sign	9	meaning	9
food	8	see	9
medicine	7	time	9
name	7	make	8

4.2 「困ったこと」の共起ネットワーク

表 1 で提示されたような抽出語が他のどのような語とより強くつながっているのかを見るために共起ネットワークを作成した⁽⁴⁾。分析にあたって、出現数による語の取捨選択に関しては最小出現数を 3 に設定した。「困ったこと」の共起ネットワークを図 1、「良かったこと」の共起ネットワークを図 2 に示す。図内の番号は便宜的に筆者が付け足した。線同士でつながっているグループがサブグラフになっており、強い共起関係ほど太い線で、出現数が多い語ほど大きい円で描画されている。本稿では図 1 の共起ネットワークから得られたサブグラフの中で特徴的な傾向が見られると判断したものを取り上げる。

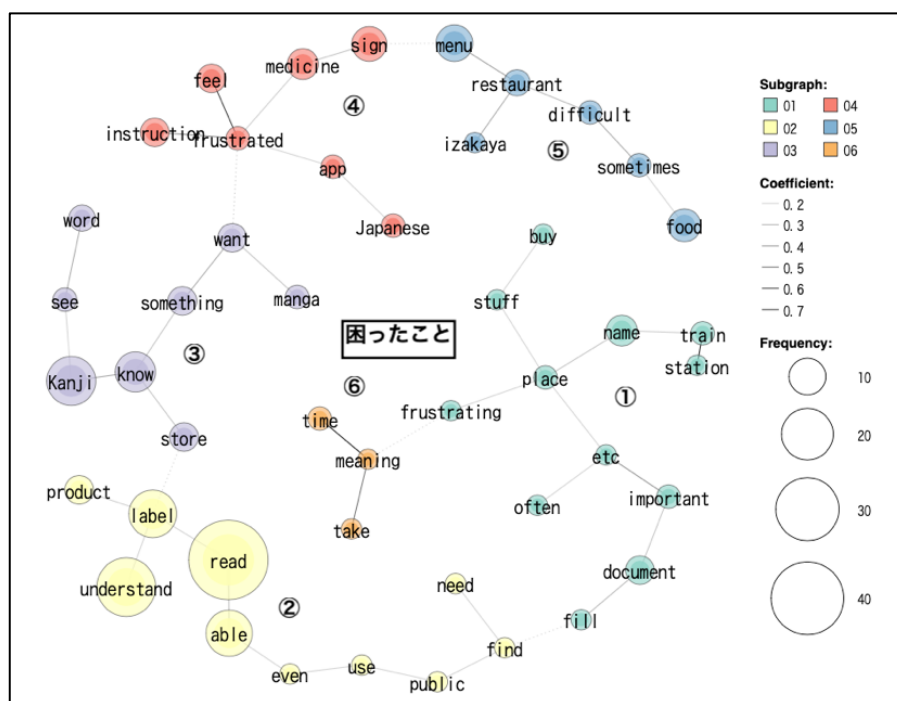


図1 共起ネットワーク（困ったこと）

図 1 のサブグラフ①と④には **frustrating**、**frustrated** という言葉が配置されている。①では **place**、**train**、**station**、**name** などから駅や場所の名前、また **fill**、**important**、**document** とあり重要な書類に書き込むことを困難に感じていることが読み取れる。④では **instruction**、**medicine**、**label** が含まれており、実用的で重要な情報の理解に関する困難に対する感情面の言及がなされている。

サブグラフ②では read、understand、able、label が出現回数が多い大きい円となっている。①④では感情が強調されているのに対し、②では読めないことや理解できないこと（特に商品等のラベル）に関する記述が多いことが観察できる。

グループ⑤は food、izakaya、restaurant、menu といった語から食べ物に関するトピック、グループ⑥では take、time、meaning が共起関係になっていることから意味の記憶や理解などに時間を要することがトピックになっていることがわかる。

実際に上記の抽出語がどのような文脈で使われているか、KWIC (Keyword in Context) コンコーダンスを使用し調べたものが表 2 である。表一列目にはサブグラフ番号を入れ、サブグラフ内に現れた共起関係にある抽出語を下線太字にした。

頻出語と照らし合わせてみても、「標識や案内、地名や駅名、ラベル表示」といった生活必需品に関するもの（表 2-a、b、c、d、i）がわからないということに対する困難点を指摘したコメントが多く観察された。これは中級学習者の悩みというよりも、むしろ日本に來日してまだ日が浅い、非漢字圏の学習者が直面する経験であると言えるだろう。本調査の対象者は、大半が在籍期間が半年から 1 年の留学生別科生である。来日前に漢字学習の経験はあるものの、実生活で必要とされる漢字の量と種類に対する困難があることを示している。

表 2 各サブグラフで抽出された語が含まれた自由記述文例

①	a. Ingredient labels and often <u>place names</u> are tricky ... (成分表示や地名が厄介なことが多い…) b. When reading signs or <u>names of places</u> in Japan, or when reading Japanese novels and not understand common <u>place</u> Kanji Japanese learn in primary school. (標識や日本の地名を読むとき、あるいは日本の小説を読んでいて小学生で習うような一般的な場所に関する漢字がわからないとき。)
②	c. Finding supplements at drug stores, read food <u>labels</u>, <u>understand</u> instructions in <u>public</u> spaces. (ドラッグストアでサプリメントを探す、食品ラベルを読む、公共の場の案内を理解すること。) d. Not understanding <u>labels</u> on <u>products</u>, not being <u>able</u> to <u>read</u> text messages or text in social media posts. (商品のラベルがわからない、テキストメッセージや SNS の投稿が読めない。)
③	e. When I <u>want</u> to type <u>something</u> on the keyboard and don't <u>know</u> which Kanji to choose from the ones computer suggests. (キーボードで何か打ちたいときに、パソコンの変換候補のどの漢字を選べばいいかわからない。) f. Not being able to read <u>Kanji</u> when texting friends even though they use <u>words I know</u>. (メッセージを送るときに友達を使う言葉はわかるのに漢字が読めない) g. I think the most difficult times for me is when I <u>see</u> a <u>Kanji word</u> I <u>know</u> the <u>Kanji</u> individually but I don't <u>know</u> sometimes when some Kanji together in a <u>word</u>, that's kind of frustrating because I <u>know</u> the meaning of individual characters .

	(一番難しいのは、漢字の言葉を見たときに一つ一つの漢字はわかるのに一緒になったらわからなくなること。それぞれ漢字の意味はわかるからもちがしい。) h. When I <u>see Kanji</u> I <u>know</u> , but I don't <u>know</u> which reading I am supposed to use. (知っている漢字なのに、どの読み方を使えばいいのかわからないとき。)
④	i. I <u>feel frustrated</u> when I can't read <u>instructions</u> on <u>apps</u> such as e-bike apps or hotel booking or travel sites. I tried downloading a nail service app and I couldn't understand how to book the nail tech. (E バイクのアプリやホテル予約、旅行サイトなどのアプリの説明が読めないとイライラする。ネイルサービスのアプリをダウンロードしてみたけれどもネイリストの予約方法がわからなかった。)
⑤	j. Not being able to read <u>menus</u> at certain <u>izakaya</u> . (いくつかの居酒屋でメニューを読むことができないこと。)
⑥	k. Not being able to read or <u>taking</u> too much <u>time</u> to remember the Kanji. Mostly, I always struggle to recall the <u>meaning</u> of Kanji. (漢字が読めない、覚えるのに時間がかかりすぎる。だいたいいつも漢字の意味を思い出すことに苦労する。)

一方、サブグラフ③では特徴的な記述が見られた。図1 共起ネットワークのサブグラフ③には know、see、want といった動詞が含まれている。どのような文脈でこれらの抽出語が使われているかを見ると、サブグラフ③で見られた記述の中には、ただ「看板が読めない、地名がわからない」といった日常生活の困難点とは違い、「言葉はわかるのに漢字がわからない」「音と言葉がマッチしない」(表 2-e、f、h)「漢字一つ一つはわかるのに言葉になったら意味がわからなくなる (表 2-g)」といったフラストレーションが見られた。これはある程度漢字知識のストックがある中級学習者が遭遇する困難点として特徴的であると考えられる。

以上のことから、留学生別科に在籍している当大学の中級学習者は、「生活の中で漢字がわからなくて困ったこと」として日常生活の場面を多く挙げていること、実用的で重要な情報の理解に関する「読めない」「わからない」ことに対するフラストレーションを感じていることが明らかになった。また、数は多くないものの「漢字の部分的理解によるジレンマ」を感じているという記述もあった。

4.3 「良かったこと」の共起ネットワーク

次に「生活を送る中で漢字を勉強していて良かった (良かったこと)」と感じた場面についての共起ネットワークを図2に示す。8個のサブグラフの中で特に筆者が特徴があると判断したサブグラフについて取り上げる。

サブグラフ①に関しては、頻出語として検出された read、understand、feel、learn の動詞と happy がサブグラフ内に見られることから、読解力の向上による達成感が示されている。

サブグラフ②には「授業で学んだ漢字 (class、word) を駅や電車の場面 (station、train) で認識できる (recognize) ようになった実践的な効果、サブグラフ③は make、help との共起から、漢字理解が実際の行動をサポートする場面、サブグラフ⑥、⑦、⑧ではメディアでの言葉の理解 (watch、say)、日本人との交流 (Japanese、friend)、移動時の地名理解 (travel、place) といった社会活動の広がりが見られている。

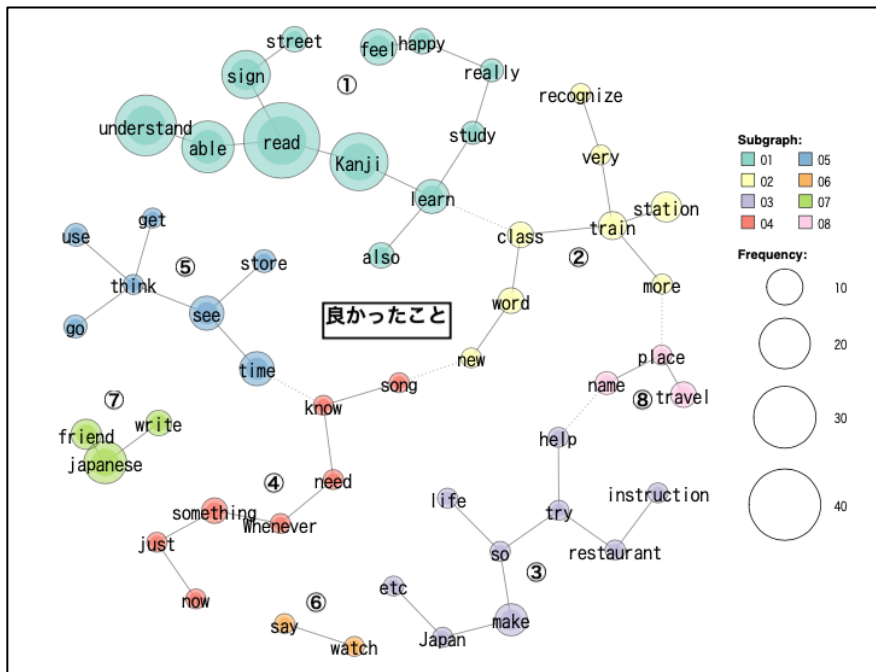


図2 共起ネットワーク（良かったこと）

実際に上記の抽出語がどのような文脈で使われているのかを例示したものが表 3 である。表一列目はサブグラフ番号を入れ、サブグラフ内に現れた共起関係にある抽出語を下線太字にした。

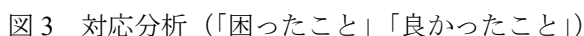
KWIC コンコーダンスの分析からは、学習者の「よかった」体験が段階的に深化していることが示唆される。最も**基本的な達成感**として、「過去に苦勞していたことができるようになった」(表 3-a) という直接的な学習効果の実感がある。次の段階では、理解できるようになったことで得られる具体的なメリット、例えば「クーポンの税金表示を理解できて得をした」(表 3-b)、「乗り過ごしを防げた」(表 3-c) といった**実用的価値**を見出している。さらに発展的な段階として、「メニューやお得情報を理解して新しい食べ物を試せる」(表 3-d)、「テレビの字幕やニュースが理解できる」(表 3-g) など、漢字理解が**生活体験の質的向上や文化理解の深化**につながっている。

例が観察された。これらの記述は、漢字学習の効果が単なる文字の解読能力を超えて、学習者の生活や異文化体験の充実に寄与していることを示している。

表3 「よかったこと」各サブグラフの抽出語が含まれた自由記述文例

①	a. When coming back to things that I used to struggle with in the past. I am currently reading Harry Potter 1 in Japanese and I am able to read much faster now than before this semester. (過去に苦労していたことに戻って考えると、今、ハリーポッター1を日本語で読んでいるけれども、今学期の前よりもずっと速く読めるようになった。) b. I was able to understand that there was additional tax on a coupon recently and I was so happy we had a coupon assignment. (最近、別途税金がかかることがクーポンに書いてあることがわかって、クーポンの課題があつて本当によかった。)
②	c. When I am sleeping on the train and I suddenly wake up confused if I had missed my station if I can recognize the Kanji of the station I feel very glad and a sense of gratification (電車で寝ていて突然目が覚めて、乗り過ごしたのではないかと混乱したとき、駅の漢字がわかれば、とても嬉しくありがたい気持ちになる。)
③	d. I am confident in the cafes and restaurants when I order something, because I can read and understand the menu and special deals. It helps me to save money and I can try different tasty things ! (カフェやレストランで何かを注文するとき、メニューやお得情報を読んで理解することができる自信がある。お金を節約できるし、色々なおいしいものを試すことができる!)
④	e. Whenever I read something in public and notice new Kanji that I just learned. (公共の場所で何かを読んでいて、習いたての新しい漢字に気づく時はいつも。)
⑤	f. Just being able to understand for example a sign you have seen a lot of times but now you finally understand the meaning. (例えば、何度も見たことのある標識でも、ようやくその意味を理解することができたとき。)
⑥	g. I feel really happy when I can watch tv and see the Kanji I learned in the subtitles or understand what the news hosts are saying. It makes all the studying worth it. (テレビを見ていて、字幕に習った漢字が出てきたり、ニュースの司会者が言っていることがわかったりすると、本当にうれしくなる。勉強した甲斐があつた。)
⑦	h. Understanding what my Japanese friends are saying when I am texting them. (日本人の友人とメールしていて、その友人が何を言っているのかがわかるとき。) i. When I'm at a restaurant or a store and they have a promotion only written in Japanese and I can read the conditions or the rules I feel very happy. (レストランやお店で日本語で書かれたプロモーションがあり、その条件やルールが読めるととても嬉しくなる。)
⑧	j. Being able to quickly recognize names of places when traveling. (旅行先で地名を素早く認識できること。)

「困ったこと」と「良かったこと」の記述文を比較し、それぞれに特徴的な語を対応分析で視覚化したものが図3である。対応分析では、抽出語同士が一緒に使われる場合をもとに、それらの関係性を図に表す。具体的には、頻繁に共起する語は近くに、あまり共起しない語は遠くに配置される。このため、中心(原点0)から遠い語ほど、特定のカテゴリ(図3では「困ったこと」「よかったこと」)に偏って出現する特徴的な語だと考えられる。



第一段階の「基本的な達成感」では、既習漢字の認識（表 4-e）という直接的な学習効果が見られた。第二段階の「実用的価値の発見」では、商品選択（表 4-a）や予

約（表 4-b）等における自律的な判断・行動の獲得が観察された。第三段階の「文化理解への広がり」では、日本人とのコミュニケーションの質的向上（表 4-c、d）が見られた。さらに、中級学習者に特徴的と考えられる点として「音声と漢字・意味のマッチングによる統合的理解（表 4-e）」「部首からの意味理解（表 4-f）」「文脈からの意味推測（表 4-g）」といった既習知識を元にした応用的なストラテジーの使用が観察された。

表 4 「良かったこと」に出現した語の自由記述文例

make	a. Being able to understand labels on what I'm buying so I can make better decisions on what product I want. （自分が買おうとしている商品のラベルが理解できることで、自分がほしい商品をについてよりの確に判断できるようになる。） b. When I need to book hotels or make reservations of events, I can do them myself and don't really need the translator. This saves a lot of the time （ホテルを予約したり、イベントの予約をしたりする必要があるとき、自分でできるから、翻訳者が本当に必要ない。かなり時間の節約ができる。）
friend	c. Being able to read texts from friends quickly without having to look up the Kanji they used. （友人がメールで使った漢字を調べることなく素早く読むことができる。） d. It helps me to remember the names of my Japanese friends and professors, because I can remember the Kanji from the name. （日本人の友達や先生の名前を覚えるのに役立っている。なぜなら名前から漢字を思い出せるから。）
learn	e. When I hear a word I can picture the Kanji in my head and be like "Oh I learned that Kanji and the meaning in class" so it's helpful in studying my vocabulary as well. （言葉を聞いたとき、頭の中に漢字が浮かんで来て、「ああ、この漢字と意味は授業で習った」と思えるので、語彙の勉強にも役に立っている。）
meaning	f. when I am able to notice radicals and understand meanings of unknown Kanji or Kanji combinations. （部首に気がついて、それで知らない漢字や漢字の組み合わせの意味が理解できたとき。） g. Understanding books I have bought by inferring meaning of unknown words （知らない言葉を推測して買った本の内容が理解できたとき。）

これらの考察から、中級学習者の漢字学習は、自律的な生活行動の実現、対人関係の深化、そして漢字知識の応用的活用という形で、生活の質的向上に寄与していることが可能性として示唆された。

5. まとめと今後の課題

本研究では、中級学習者の漢字使用に関する自由記述文の分析を通じて、交換留学生の漢字学習における困難点と達成感の実態が明らかになった。

分析の結果、困難点として特徴的だったのは、「ラベル」「メニュー」「食べ物」「薬」など、日常生活に直結する「生活の漢字」への言及が多かった点である。これは、中級レベルの学習者であっても、短期滞在者特有の課題として捉えることができる。また、「読めるのに意味がわからない」「音と漢字がマッチしない」といった、ある程度の漢字知識を持つ学習者ならではの部分的理解によるジレンマも観察された。

一方、「漢字を勉強していてよかった」経験については、段階的な深化が確認された。具体的には、①単なる「できた」「わかった」という学習効果の実感、②お得な情報の入手や効率的な行動といった実用的価値の発見、③ニュース理解や対人関係の円滑化など、文化理解の深化に繋がる体験、という三段階の進展が示唆された。

これらの知見を踏まえ、今後の教育実践へ活かすためには、以下のような取り組みを考えている。まずは、生活密着型の漢字学習支援の強化、そして、学習者の漢字学習ストラテジーの可視化と明示的指導である。さらに、本研究で明らかになった学習者の感情体験に着目し、「読めた」から「読めたから得した」、「できた」から「深く理解できた」といった、実用的価値と文化理解を結びつけた学習タスクの開発を目指したい。このような感情体験の積み重ねは、学習者の漢字学習へのモチベーション向上にもつながる可能性がある。

ただし、本研究の結果が全ての中級学習者の特徴を表しているわけではない。学習者属性や滞在期間による困難点の違いを明らかにすること、また「ある程度漢字がわかるようになったからこそその困難点・よかった点」という視点からの継続的調査が必要である。これらの実践と研究を通じて、より効果的な中級漢字教育の実現を目指したい。

注

- (1) 今回は K&R4、5、6 のクラス履修者を「中級学習者」とし、調査対象者にした。
- (2) 回答の自由記述文の日本語訳は筆者によるものである。
- (3) 上位 12 位は、出現回数 9 回以上の語を全て含むように設定した。出現回数で区切ると「良かったこと」で同頻度（9 回）の複数の語が分断されるため。
- (4) 共起ネットワークとは、出現パターンが似通った語、つまり同じ文書の中で語と一緒に使われる共起の程度が強い語を線で結んで可視化したネットワークである（樋口 2021）。

参考文献

- 秋山麻衣耶・林亜友美（2016）「中上級学習者に対する漢字学習ストラテジー セルフ・フィードバックの活用に向けて」『JSL 漢字学習研究会誌』8, 20-24.
- 加納千恵子（2000）「中級学習者による漢字熟語の用法習得上の困難点」『日本語教育方法研究会誌』7(1), 32-33.
- 加納千恵子（2011）「第1章作る前に」『漢字教材を作る』関正昭, 土岐哲, 平高史也編, 1-35. スリーエーネットワーク
- 掛橋知佳子（2023）（「プロジェクト・ワーク実践報告—『漢学留学生のための漢字』を学ぶ学習ツールの制作—」『関西学院大学日本語教育センター紀要』13, 37-48.
- 國澤里美・梶原彩子（2017）「中級「漢字・語彙」クラスにおける自律学習の実践—日本語コースデザインの改善を通して」『名古屋学院大学論集 言語・文化編』28(2), 135-151.
- 窪田晃子（2017）「非漢字系学習者への漢字授業（実践報告）—試行錯誤で進めてきた中級学習者への漢字指導—」『JSL 漢字学習研究会誌』9, 101-110.
- 佐々木仁子・松本紀子（2022）『増補改訂版 日本語総まとめ N2 漢字』アスク出版
- 田嶋香織・宇野聖子（印刷中）「中級日本語学習者の日常生活における漢字使用について」『国際文化研究所第11回 IRI 言語・文化研究フォーラム予稿集』
- 坂野永理・池田庸子・品川恭子・田嶋香織・渡嘉敷恭子（2009）『KANJI LOOK AND LEARN』ジャパントイズ出版
- 樋口耕一（2021）『社会調査のための計量テキスト分析[第2版]: 内容分析の継承と発展を目指して』ナカニシヤ出版

(seiko.uno@kansai.ac.jp)

【資料1】アンケート用紙「漢字学習に関する意識調査(漢字学習の目的・協働学習の意義・効果的な学習方法の模索)」

Q2 あなたが日本の生活で、漢字が読めない・書けないから困ることで困難を感ずるのはどんな時ですか。具体的なシーンを書いてください。いつでもOKです。(自由記述)・When do you feel difficulties in your daily life due to not being able to read kanji or understand words? Please write specific situations. You can list as many as you like. (Free response)

<例> ・ドラッグストアで薬を買ったときの内容がわからない

- Not understanding the labels when buying medicine at a drugstore.

- 読み方でもわからないと漢字が読めるのストレスを感じる

- Feeling frustrated when there are too many unknown words or kanji in reading materials

Q3 もしわからない漢字や書けない漢字が出たとき、あなたはうますか。当てはまるのを3つまで選んでください。(複数回答可) What do you do when you encounter unfamiliar kanji or words you haven't learned yet? (Please select up to three that apply.)

() 無視する/あきらめる Ignore it / Give up

() スマホで調べる Look it up on a smartphone

() 後で調べるためにメモをする/写真にとりておく Take notes / Take a photo to look up later

() 前後の文脈から推測してみる Guess from the context

() 知っている漢字や漢字の部首など関連づけて意味を推測する Associate with known kanji or radicals to guess the meaning

() Others

Q4 あなたが日本で生活を送る中で「漢字を勉強してきてよかった」と思うのはどんな時ですか。具体的なシーンを書いてください。いつでもOKです。(自由記述) When do you feel glad that you studied or know kanji while living in Japan? Please write specific situations. You can list as many as you like. (Free response)

<例> ・マンガを読んでいると知らない漢字があつた時、知っている漢字の知識を使って意味がわかった時

- Understanding the meaning of unknown kanji while reading manga by using your knowledge of kanji.

- 割引券やクーポン券の内容がわからなくて他の人のおおりに買い物ができた時

- Understanding the details of discounts or coupons and being able to shop more economically than others.

Q5 あなたが漢字を学習する目的は何ですか。(複数回答可。当てはまるのを3つまで選んでください) What are your reasons for learning kanji? (Please select up to three that apply)

() 漢字や言葉を書くのが好きだから I just enjoy studying kanji and words

() マンガやアニメ、小説など自分の興味のあるものを読みたいから I want to read things I'm interested in like manga, anime, and novels

() 日本人と交流し、会話をするために漢字や漢字の知識を身につけたいから I want to learn more kanji and kanji vocabulary to have deeper conversations and discussions with Japanese people

() JLPT(日本語能力検定試験)に合格したいから I want to pass the JLPT

() 将来的に日本語でレポートを書く、小説を書く、日記を書く、小論文を書く、などしたいから I want to write reports, give presentations, or write novels in Japanese in the future

() 将来的に、日本の大学で研究をしたいから I want to conduct research at a Japanese university in the future.

() 将来的に日本語を使う仕事したいから I want to use Japanese in my future career

() Others

Q6 あなたが漢字が読める理由・目的は何ですか。(複数回答可。どれも当てはまるのを3つまで選んでください) What are your reasons or goals for taking a kanji class? (Please select up to three that apply)

Very Often 5-----4-----3-----2-----1 Not at all

→ Continue to the next page

Awareness Survey on Kanji Learning

(Purpose of Learning Kanji, Significance of Collaborative Learning, and Exploration of Effective Learning Methods)

■ Survey Purpose: The purpose of this survey is to investigate the kanji learning methods of intermediate and upper-intermediate learners and the significance of learning kanji and kanji vocabulary collaboratively. We aim to use the findings to introduce kanji and vocabulary that meet the learners' needs and to develop kanji learning activities that enhance learners' sense of achievement and satisfaction.

■ Handling of Personal Information: The information collected in this survey will be strictly managed and will not be used for purposes other than this survey. Personal information will be anonymized, and research results will be published only as statistical data.

If you have any questions or concerns, please contact us at the following address:

Seko Uno, K&R4b, K&R5a:

Kaori Tajima, K&R6:

We apologize for any inconvenience during the busy end-of-term period, and we appreciate your understanding and cooperation.

<Basic Information>

■漢字のクラス Your Kanji class → K&R (4 5 6).

■日本語のクラス Your JPN class → JPN (3 4 5 6 7 8)

■出身国 Nationality →

■日本語の学習歴 Your Japanese Learning History

() 0-6 months 7months to 1 year () 1 year to 1.5 years

() 1.5 years to 2 years () 2 years to 3 years () More than 3 years.

■現在知っている (読める・わかる) 漢字の数 Number of Kanji Currently Known (Readable / Understandable):

() ~300 () 301-500 () 501-800

() 801-1000 () more than 1000 characters

次の質問に答えてください。日本語でも英語でも書きやすい方で答えてください。Please answer the following questions. You can respond in either Japanese or English, whichever is easier for you.

Q1. 授業で勉強した漢字や文法と日常生活で目にする機会がありますか。Do you have opportunities to see or use the kanji and vocabulary you learned in class in your daily life? Please circle a number from 1 (not at all) to 5 (Very often)

- () 単位取得のため To earn credits.
- () 自分の漢字や漢字知識の知識を習いたい To increase my knowledge of kanji and kanji vocabulary.
- () 漢字を勉強するのが好きだから Because I enjoy studying kanji and words.
- () 自分一人ではなかなか漢字検定試験を現や勉強ができたから Because I find it difficult to study and increase my kanji and kanji vocabulary on my own.
- () もっとたくさんの漢字を学習する方法/ストラテジーを知りたい Because I want to learn strategies to learn more Kanji.
- () よく似ている意味の似たような英語の単語が同じような正しい使い方を勉強したい Because you want to learn the subtle differences in words that are typically translated the same.
- () others _____

Q7 あなたの普通の漢字や漢字のこの学習方法について教えてください。自分がよく使う方法を 3 つまで選んでください。(複数回答可)
How do you usually study kanji and kanji vocabulary? (Please select up to three methods you often use)

- () 自分でフラッシュカードを作る Make my own flashcards
- () Quizlet や Anki などのフラッシュカードアプリを使う Use flashcard apps like Quizlet or Anki
- () Wanikani などのアプリを使う Use apps like Wanikani
- () ノートに言葉は何回も書いて覚える Write words repeatedly in a notebook to memorize them
- () 学んだ言葉を覚えて単語を作る example sentences using the words I've learned
- () ニュース/ウェブ/マンガ/小説などの生教材を読む Read authentic materials like news, websites, manga, and novels
- () JLPT などの練習問題を解く Solve practice problems for JLPT and other tests
- () 自分で漢字の部首や語源を調べる Research kanji radicals and etymology myself
- () マッピングなどを使って覚える Use mapping techniques to memorize them
- () 他のごまや漢字と関連付けて覚える (反対語や似たような意味のことばと一緒に覚える、よくつかう名詞と動詞をセットで覚えるなど) Associate them with other words or kanji (e.g., learning antonyms or words with similar meanings together, or pairing frequently used nouns and verbs)
- () Others _____

Q8 クラスで協働で漢字を学習するメリットは何だと思いますか。漢字は一人でも学習できる部分が多いですが、クラスで他のクラスメートと一緒に漢字を勉強するメリットは何だと思いますか。いくつか、いくつかでOKです。思いっことを自由に書いてください。(自由記述) What do you think are the benefits of learning kanji collaboratively in class? While much of kanji learning can be done individually, what do you think are the benefits of studying kanji together with classmates in class? Please write as many as you can think of. (Free response)

- () リレ-作文やクリエイティブライティングなど習った言葉をを使って自由に文を書く Writing freely using the learned words (e.g., relay writing)
- () メールや手紙などで日本人と実際にやりかざる interacting with Japanese people via emails or letters
- () 漢字クイズ (そのための勉強) Kanji quizzes (studying for them)
- () 町で見かけた知らない漢字をクラスで見せ合う Finding unknown Kanji outside the class and bring it to class for discussion
- () 漢字を使ったゲームをする Playing games to memorize Kanji
- () よく似ている意味の似たような英語の単語が同じような正しい使い方を勉強したい Because I want to learn the subtle differences in words that have similar meanings or are typically translated the same.
- () 漢字に関する個人プロジェクト Kanji Learning Individual Project
- () 漢字に関するグループプロジェクト Group Project that involves Kanji you learn
- () Others _____

→ Continue to the next page

- () リレ-作文やクリエイティブライティングなど習った言葉をを使って自由に文を書く Writing freely using the learned words (e.g., relay writing)
- () メールや手紙などで日本人と実際にやりかざる interacting with Japanese people via emails or letters
- () 漢字クイズ (そのための勉強) Kanji quizzes (studying for them)
- () 町で見かけた知らない漢字をクラスで見せ合う Finding unknown Kanji outside the class and bring it to class for discussion
- () 漢字を使ったゲームをする Playing games to memorize Kanji
- () よく似ている意味の似たような英語の単語が同じような正しい使い方を勉強したい Because I want to learn the subtle differences in words that have similar meanings or are typically translated the same.
- () 漢字に関する個人プロジェクト Kanji Learning Individual Project
- () 漢字に関するグループプロジェクト Group Project that involves Kanji you learn
- () Others _____

Q10 あなたが漢字学習で面白いと感じるクラス活動は何ですか。楽しんで感じるものを 4 つまで選んでください。(複数回答可) What class activities do you find enjoyable in "kanji learning"? (Please select up to four that you enjoy.)

- () ティーチン-ン (聞き取り) Dictation
- () 授業中に漢字を書く練習 Practicing writing kanji during class
- () 習った漢字や言葉を覚える会話をする Conversing using the kanji vocabulary learned
- () 習った漢字や言葉が使われている読み物を読む Reading materials that include the kanji vocabulary learned
- () 習った漢字や言葉を覚えた短い文を作る Creating short sentences using the kanji vocabulary learned
- () 穴埋めや正しい言葉を選んで () に入れるなどの練習問題をやる practice exercises like fill-in-the-blank or choosing the correct word
- () 習った漢字や言葉を覚えるテーマが決まっている作文を書く Writing compositions on a given theme using the kanji vocabulary learned
- () リレ-作文やクリエイティブライティングなど習った言葉をを使って自由に文を書く Writing freely using the learned words (e.g., relay writing)
- () メールや手紙などで日本人と実際にやりかざる interacting with Japanese people via emails or letters
- () 漢字クイズ (そのための勉強) Kanji quizzes (studying for them)
- () 町で見かけた知らない漢字をクラスで見せ合う Finding unknown Kanji outside the class and bring it to class for discussion
- () 漢字を使ったゲームをする Playing games to memorize Kanji
- () よく似ている意味の似たような英語の単語が同じような正しい使い方を勉強したい Because I want to learn the subtle differences in words that have similar meanings or are typically translated the same.
- () 漢字に関する個人プロジェクト Kanji Learning Individual Project
- () 漢字に関するグループプロジェクト Group Project that involves Kanji you learn
- () Others _____

These are all the questions. We hope to use the results of this survey to help future students with their kanji learning. Thank you for your cooperation.